

平成22年度

共同生活援助・共同生活介護事業

「かつしかセンター」

事業報告

社会福祉法人原町成年寮

I. 新規ユニット開設と定員の変更

① 新規開設

ユニット名称	開設日	定員	住所
kiritomoEL	7月1日	7名	葛飾区東立石4-41-5
フクロウ	12月1日	3名	葛飾区立石1-9-11 第2長谷川ビル302/201

② 定員変更

ユニット名称	変更日	定員	
コンパクト	4月1日	5名	8名から3名減
ニコール	4月1日	4名	7名から3名減
第五原町成年寮	4月1日	8名	7名から1名増
渋江公園前生活寮	8月1日	10名	9名から1名増
ニコール	8月1日	2名	4名から2名減
まねき猫	10月1日	5名	4名から1名増

平成22年度 定員変更数

5名増

II. 事業展開

6月、利用者数が260名を超えた。重度から軽度まで260名を包括する事業所となりこれを一元的に管理するのは困難であることから管理体制上、中軽度を中心とした「かつしかセンターグループホーム」と重度を中心とした「援助センターケアホーム」に分離し、それぞれに事務所を設置した。

しかし、3月末におけるかつしかセンターの利用者数は190名を超え、ほぼ限界に近い状況となり、依然として支援体制上も厳しい状況が続いている。

III. 支援体制について

第一生活寮、渋江公園前生活寮、更紗の各宿直寮を拠点とした3チーム体制で利用者支援にあたった。

中軽度に特化したとはいえ1チーム当たりの利用者数は50～80名であり、高齢化と精神疾患による医療面での支援や、金銭管理業務や各種申請等事務業務の絶対量の増加から支援員の負担は急増している。

IV.利用者状況(平成 23 年 3 月)

① 新規利用／利用解除

新規利用者 22名		利用解除者 6名	
家庭	8	家庭復帰	2
施設(知的入所)	4	死亡	1
施設(生活保護)	3	少年鑑別所	1
施設(更生保護)	1	AP生活	1
他法人GH	4	短期入所	1
葛飾通勤寮	1		
生活支援事業	1		

② 障害程度区分

区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
115	44	28	5	2	0	194

③ 医療的支援

精神科通院	35
てんかんによる土田病院通院	25
その他の定期通院(内科、眼科、皮膚科)	42
計	102

④ 他

生活保護受給者	18
成年後見制度利用者	10

3月末での利用者数は194名である。過半数は区分1であるが区分4、5の利用者もいる。これは身体介護の量的評価ではなく支援困難性という特記項目により高く区分がついたものである。通所している。中度利用者も含め精神障害、発達障害も含めた利用者もかなりの人数にのぼり、また今年度は更生保護施設からの受け入れも1名ありさらなる支援の質が要求される。

医療面では精神科を含め何らかの定期通院をしている利用者は延べ100名を超えている。土田病院と目黒クリニックの代行通院を除きほぼすべての定期通院には同行支援の必要性があり、特に精神科の場合特定の病院や医師ということから遠くは東村山市、大宮市まで通院している例もある。さらに不定期的な通院も多く通院動向支援は日常業務の中でかなりの時間を費やした。

VI.職員状況

管理職(所長・副所長)各1名	2	
支援員	22	主任2、キャップ2
部分委託世話人	3	
調理・清掃	34	内、援助センター兼務 2
看護師	1	
計	62	

主任1名が体調不良のため休職し、キャップ1名が退職した。

3チーム制において2名主任と2名キャップ体制であるので兼務している副所長、主任の負担は大きく、約半数が3年未満の若い職員をかかえるかつしかセンターにあって中堅職員の欠員は組織の存続に係わるほどの痛手であった。

また非常勤看護師を1名配置したことは高齢化と精神疾患の増える現状から、支援員にとって心理的な負担軽減になった。

VII.特別支援学校体験実習

大塚特別支援学校高等部3年生の実習生を3名(各5日ずつ)受け入れた。

VIII.委員会活動

① 防災委員会

本年度より「かつしかセンター」防災委員会を発足し、月1回防災委員会を開催し防災活動に力を入れた。特に職員を対象とした「自衛防災訓練」を年5回実施した。

事業所が分離してからは「かつしかセンター」「援助センター」合同の防災委員会として活動を継続した。

② リスクマネジメント委員会

定期的あるいは必要時に委員会を開催し、日頃の支援上のヒヤリハット事例を検証し事故防止に努めるようにした。

IX.支援会議

① チーム会議

各チーム月2回定例でチーム会議を実施し、利用者の個別支援方針を検討した。

② サービス管理責任者会議

月2回 所長、副所長、主任、キャップで実施した。利用者の個別支援方針の確認とセンター全体に係わる議案を検討した。

③ 合同サービス管理責任者会議

月1回「かつしかセンターGH」「援助センターGH」「通勤寮GH」「地区GH」「ドロップ」合同のサービス管理責任者会議を実施した。

④ センター会議

月1回 かつしかセンター全体会議を実施した。

事務局から寮長、事務次長、さらに事務職員が参加してセンター全体に関わる事項の確認と連絡、上位会議、下位会議からの報告、各委員会報告、研修報告等をおこなった。

X.外部研修

以下のとおり実施した。

研修日	研修名	主催団体	開催地
2月27日	市民フォーラム	全国地域生活支援 ネットワーク	都内
6月28/29日	新任職員研修	東社協人材センター	都内
6月12/13日	日本GH学会大会	日本GH学会	都内
7月8/9日	全国GHCH研修会	福祉協会	幕張
9月29日 ～10月1日	福祉関係職員 研究大会	福祉協会	和歌山
1月8/9日	あいサポート鳥取	全国域生活支援 ネットワーク	鳥取
11月11/12日	自閉症施設協議会	自閉症施設協議会	長野
2月4/6日	アメニティネットワークフォーラム	全国域生活支援 ネットワーク	滋賀
12月7/8日	指導的職員研修	東社協人材センター	都内
11月12/14日	福祉のトップセミナーin雲仙	(社福)南光愛燐会	島原